



2024年5月10日

各 位

会 社 名 株式会社フォーシーズHD  
代 表 者 名 代表取締役社長 寺田 智美  
(コード番号 3726 スタンダード市場)  
問 合 せ 先 取締役経営企画室長 松野 博彦  
(TEL. 092-720-5460)

## 2024年9月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異および

### 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年11月10日に公表いたしました2024年9月期第2四半期連結業績予想と、本日公表の実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、2023年11月10日に公表いたしました2024年9月期通期連結の業績予想につきまして下記のとおり修正いたしましたので併せてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 連結業績予想と実績値との差異について

##### (1) 2024年9月期 第2四半期連結業績予想と実績値との差異 (2023年10月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前 回 発 表 予 想 (A)	1,308	△22	△24	△34	△4.28
実 績 値 (B)	1,113	△67	△68	△74	△9.25
増 減 額 (B-A)	△195	△45	△44	△40	△4.97
増 減 率 (%)	△14.9	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2023年9月期第2四半期)	1,028	△104	△104	△103	△14.00

##### (2) 差異の理由

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月に発表された日銀短観の大企業の業況判断(最近)によると、製造業の景気判断を示す指数は、自動車の減産などが下押し要因として4期ぶりに悪化しました。一方で、非製造業の指数は好調なインバウンド需要などを背景に8期連続で改善し、1991年以来の高い水準となりました。雇用判断DIにおいては特に非製造業で不足感が顕著で、人手確保のための賃金上昇圧力が強まっており、日銀が目指す「賃金と物価の好循環」には好材料となるものの人件費などの価格転嫁が進み、企業の販売価格見通しは引き上げられています。引き続き企業の中期的なインフレ予想が2%超を維持したことに加え、人手不足感も強いことが確認され、物価上昇と賃上げの好循環定着には期待が集まりますが、物価上昇に伴う国内消費の腰折れや人手不足の深刻化などへの警戒感が台頭し、先行きに対してかなり慎重な見方が示されております。

このような状況下のもと、当社グループにおきましては業績回復に向けて、各セグメントそれぞれの営業スタイル特性に合わせた施策を積極的に推進してまいりましたが、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、「通販事業」におきましては売上・利益ともに予測どおりで進捗しており、「卸売事業」におきましては広告宣伝費を圧

縮したことが要因となり利益が予測を大きく超えております。しかしながら、「衛生コンサルティング事業」におきましては感染症対策として販売を行っている空間除菌デバイス Devirus AC 関連商品の売上が予測から大きく落ち込んだこと、「リテール事業」におきましては収益性の低い店舗をスクラップしたことにより売上高が予測に届かず、また顧客を動員するために従前の雑貨商品等をベースとした店舗コンセプトに戻した結果、原価率の改善が目標に届かなかったため損失が予測よりも大幅に上回ったことにより、当第2四半期連結累計期間は予想を下回る業績となりました。

## 2. 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

(1) 2024年9月期 通期連結業績予想の修正 (2023年10月1日～2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	2,790	29	23	19	2.38
今回修正予想(B)	—	—	—	—	—
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期連結実績 (2023年9月期)	2,136	△214	△216	△272	△35.29

### (2) 修正の理由

2024年5月10日に公表させていただきます「再生可能エネルギー事業への参入及び報告セグメントの変更に関するお知らせ」のとおり、当社は再生可能エネルギー事業へ参入する予定であること、また既存事業においては2024年4月12日に公表いたしました「第三者割当てによる第16回新株予約権(行使価額修正条項付)に関する資金使途変更」のとおり、マーケティング強化のための費用に充当し売上の拡大の施策を準備中であり、現時点では通期連結業績予想を合理的に把握することが困難であると判断したため「未定」とさせていただきます。

以上